



KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

No.343 2019
鹿児島ワイズメンズクラブ

1 月号

国際会長	: Moon Sang Bong [韓 国]	Yes, we can change. 「私たちは変えられる」
アジア会長	: 田 中 博 之 [東京多摩みなみ]	Action 「アクション」
西日本区理事	: 遠 藤 通 寛 [大阪泉北]	Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed on to the Future. 「未来に残すべきものを守り育てる」
九州部部长	: 上 村 眞 智 子 [熊本ジェーンズ]	Let's become the Y's Men to convey the charm of Y's, the power of Y's, the activities of Y's. 「ワイズの魅力を、ワイズの力を、ワイズ活動を伝えるワイズメンになろう!」



鹿児島クラブ会長 松永 英明 「楽しもう鹿児島クラブ! 輝こう鹿児島クラブ!!」

クリスマス会の報告

2018年12月11日(火)に12月例会を、恒例のクリスマス会として行いました。会員12名、メネット2名、ゲスト1名、計15名の参加者がありました。

この会には、麦野賦牧師(伊集院キリスト教会、鹿児島YMC A代表理事)をお迎えし、最初にクリスマスメッセージをいただきました。麦野先生はわかりやすいスライドを用いてクリスマスの意義を語られましたが、クリスチャンではない自分にとっては知らなかったことが多く、有意義なお話しでした。また、途中みんなで歌いながらクリスマスを祝い、心が温まりました。

このあと、「もろびとこぞりて」や「きよしこの夜」を歌い、会食に入りました。いつもより素敵なお馳走とお酒で和やかに会食し、昨年同様、参加者全員に1年間を振り返ってのことや、来年に向けて思うことなどを語っていただきました。会員それぞれに様々なことがあった1年だったようで、話は尽きませんでした。

なお、2020-21年度九州部長に松永ワイズが就任し、事務局を鹿児島クラブが引き受けること、また同年度には西日本区交流主任に中堀ワイズが就任予定ということが、例会の中で報告されました。その年度に向けてみんなでクラブを盛り上げていきましょう。

鹿児島ワイズメンズクラブ 園屋 高志



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

会長通信

鹿児島クラブ会長 松永 英明

07

楽しもう鹿児島クラブ! 輝こう鹿児島クラブ!

明けましておめでとうございます。

鹿児島ワイズメンズクラブの皆様、新年を迎えて、お元気で過ごしてはいかがでしょうか。日頃のワイズダムへのご奉仕に心より感謝申し上げます。

干支の「亥」は「核」とも言われ、次世代の種が新しい生命を宿しているという意味があります。一方で、勇気と躍進の象徴とされる「猪」。今年は、新しい目標に向かっていく最適な年かもしれません。クラブの目標、自己の目標に向かって頑張りましょう。

早いもので、会長職に就任しまして折り返しの時期を迎えました。キックオフ例会で皆様の前で所信表明させていただいたことを再確認し、ひとつひとつ確実に目の前の活動に取り組んで参りたいと思っております。皆様の更なるお力添えとご指導ご鞭撻をいただきながら、力強く2019年をスタートしていきたいと思っております。

報告をひとつ。1月10日に福岡中央クラブさんの例会に出席してきました。嬉しいことに中村信生氏、大塚永幸福岡YMCA総主事の2名の入会式が行われました。上村眞知子九州部部長、熊本にしクラブの岩本悟ワイズ、熊本ネクストクラブの岩本守弘会長も祝福に駆け付けていました。入会式でのワイズの活動の5つの誓い、目的を聞くと初心に立ち返ることができるいい機会でした。身の引き締まる思いでした。福岡中央クラブさんのますますのご活躍を祈念いたします。素敵な例会に参加でき感謝致します。有難うございました。

本年も何卒宜しくお願い致します。

理事通信

西日本区理事 遠藤 通寛

07

未来に残すべきものを守り育てる

明けましておめでとうございます。

新年を皆様と共に迎えられること大変嬉しく思います。

先月カンボジアのプノンペンにて、アジア太平洋地域のRDE（次期理事）トレーニングをNYM（年央会議）が開催されました。この期間中にカンボジア初のクラブ、Ys ERVICE CLUB OF PHNOMPENH CAMBODIAのチャーターナイトが開催されました。

これからのカンボジア国内のワイズメンズクラブの発展を大いに期待しています。

昨年、11月に大阪クラブが90周年を迎えられました。90年前に蒔いた一粒の種が142のクラブに成長しました。

西日本区では83クラブ、1500名余りのメンバーになりました。先輩の皆様の並々ならぬ努力と奉仕精神があつてのことと存じます。

新しい年を迎えるにあたり、皆様と共にこの素晴らしいワイズメンズクラブを育てていきましょう。

新しい靴を買いました。毎年、正月を迎えるにあたって何か新しいことをしようと思っております。しかし常に三日坊主で続きません。それならば正月前に誓いを立てて実行すれば三日坊主にならないかもしれないと思い立ちました。

メネット国内事業で子供食堂等の子供の居場所づくりに支援をお願いしております。

堺YMCAのリーダー達もさかいほっと広場を立ち上げました。

1日に1万歩を超えることができたなら千円を寄付しようと思っておりました。その際に大阪府下の旧街道を歩くのも良いかもしれません。30近くの旧街道があるようです。まず京街道、高麗橋から大津まで、休日をつないで何日かかるものやら心配です。今までに一日で歩いた最高歩行は56キロメートルです。どこかでこの記録を抜きたいものです。ちなみに12月19日に靴を購入してから1万歩を越えた日は3日だけでした。大きな目標は最初は1歩から始まります。ワイズの先輩に敬意を表してワイズライフを歩みましょう。



1 企画例会報告

Planning meeting report

日 時：平成 31 年 1 月 8 日 火曜日
 19:00~21:00
 場 所：旧 珈琲館かみむら
 出席者：神村、中堀、園屋、
 徳田、松永



今月の樹

センリョウ

お正月の木の実である。「マンリョウ(万両)」より一桁少ないが、実が上を向いて付いているので、目出度いことに使われるのであろう。高さ1m以下の常緑小低木で、茎は節の所が膨らんでいる。6月頃目立たぬ黄色の花を付け、実は熟すと赤色になる。黄色い実の成るものをキノミセンリョウと呼ぶ。

学名は、Chloranthus glaberで、センリョウ科センリョウ属である。本州の東海以西の林間に分布する。ちなみにマンリョウはヤブコウジ科ヤブコウジ属で全く異なる。

12 定例会報告

Regular meeting report

日 時：平成 30 年 12 月 11 日 火曜日
 場 所：ジェイドガーデンパレス
 出席者：15 名
 司会者：山下ワイズ

12月例会の記録	クラブ在籍者	14名
	出席者	12名
	メネット	2名
	ゲスト	1名
	ビジター	0名
	メイクアップ	0名
	12月出席率	85.7%

12月
合計金額 **¥11,083**

2018

1

月の聖句

あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい。光から、あらゆる善意と正義と真実とが生じるのです。何が主に喜ばれるかを吟味しなさい。

エフェソの信徒への手紙 5章8~10節

鹿兒島ワイズメンズクラブ

チャータ 1990年2月12日
 事務所 〒890-0056
 鹿兒島県鹿兒島市下荒田3丁目43-7 1F
 鹿兒島YMCA内
 定例会 毎月第4火曜日 場所：ジェイドガーデンパレス
 企画例会 毎月第2火曜日 場所：旧 珈琲館かみむら
 (時間は企画例会・定例会とも19:00~21:00まで)

2月 企画例会
 日時：2/12 (火) 19:00~21:00
 場所：旧 珈琲館かみむら

2月 定例会
 日時：2/26 (火) 19:00~21:00
 場所：ジェイドガーデンパレス

鹿児島YMCAについて

YMCAは、Young Men's Christian Association の略で、キリスト教青年会を意味します。誕生したのは1844年。ロンドンでジョージ・ウィリアムスを中心とする12人の若者が都市勤労青年の生活を改善しようと組織しました。地域社会の形成を願い、様々な奉仕活動、教育活動を行っています。

キリスト教精神に基づく団体ではありますが、誰もが参加できる、性別・人種・宗教・国家の隔たりを越えひとつになろうという願いを込めて、世界最大のボランティア組織として成長。現在、124の国と地域で組織され、およそ4,500万人の会員が「世界の人々が心豊かな社会の中で、共に明るく生きる平和な地球共同体の実現」に向けて、活動を続けています。

日本でも明治11年(1880年)に東京YMCA、その後、大阪、横浜、神戸のYMCAが設立されました。また、1888年には最初の学生YMCAが、東京大学に発足。当時YMCA活動を興した青年の中には、内村鑑三、新渡戸稲造、新島襄などもいました。

明治初期より、YMCA運動は日本の西洋文化の近代化に大きな影響を与え、語学教育や専門学校、スポーツジム、野外活動などがわが国に取り入れられました。また、スポーツジム、野外キャンプ、バスケットボール、スキューバダイビングは日本のYMCAによって紹介されました。

鹿児島では、日本にYMCAが誕生してから遅れること100年以上たった20数年前、鹿児島YMCA設立へ向けての小さな炎が灯り始めました。それが、きっかけで昨年から急に機運が高まり、2008年11月24日に発起人会が発足しました。

そして、ついに2009年6月29日の総会で、念願であった任意団体鹿児島YMCAの創立が決定。今後、公と私の間で活動するYMCAの立場を明らかにするため、公益財団法人を目指すと同時に、鹿児島YMCAの使命を果たすため、幅広い活動を展開していきます。

YMCA正章・略章

Spirit(心) Mind(知性) Body(体)の3つが調和した全人的な人間育成を目指すシンボル。中心にあるJohn17:21は新約聖書ヨハネによる福音書17章21節(下記)を表しています。

父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにるように、みなが一つとなるためです。彼らがわたしにいて、それによってわたしを遣わされたことを世が信じるためです。